



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月30日

上場会社名 株式会社ツカモトコーポレーション
 コード番号 8025 URL <https://www.tsukamoto.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百瀬 二郎

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役本部統括 (氏名) 田中 文人

TEL 03-3279-1330

四半期報告書提出予定日 2020年11月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	8,539	3.7	14	91.1	91	60.9	45	71.6
2020年3月期第2四半期	8,865	3.4	161	159.8	233	202.4	159	232.0

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 122百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 10百万円 (94.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	11.37	
2020年3月期第2四半期	40.02	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	25,906	10,976	42.4
2020年3月期	26,119	11,012	42.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 10,976百万円 2020年3月期 11,012百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				40.00	40.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日公表の「2021年3月期通期連結業績予想及び配当予想、特別利益の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	4.5	70	65.1	150	46.6	100	77.4	25.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日公表の「2021年3月期通期連結業績予想及び配当予想、特別利益の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料9ページ「2.(4)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	4,069,747 株	2020年3月期	4,069,747 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	87,599 株	2020年3月期	87,439 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	3,982,221 株	2020年3月期2Q	3,982,663 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料4ページ「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、依然として新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響が継続しております。企業収益や業況感も好転しているとはいえ、移動制限に伴う商業施設等の営業時間の短縮や外出自粛による消費マインドの低下と消費動向の変化、さらにインバウンド需要の急減など、景気の先行き不透明感が高い状態が続いております。

このような環境下にあつて当社グループは、洋装事業におきましては、セールスプロモーション向け商品の受注獲得に注力して売上増となりましたが、短期サイクルでの生産・納品対応による物流費の増加もあり営業利益は微減となりました。健康・生活事業におきましては、GMS や家電量販店などの店頭販売は新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響を受けましたが、EC 販路や TV 通販は巣ごもり需要の増加等により堅調に推移し、売上・利益ともに前年並みとなりました。しかしながら、和装事業やホームファニッシング事業におきましては、緊急事態宣言の発令により主力販路先である百貨店・専門店等の多数がおよそ2か月間店舗を休業した影響を受けて売上が大幅に減少したため、営業部門全体としても売上が減少しました。

以上のように厳しい経営環境下ではありますが、当社グループは、2019～2021年度を計画期間とする中期経営計画に基づき、効率経営の推進と経営資源の有効活用による生産性の向上を図り、経営基盤の強化を進めてまいります。また、営業部門におきましては、在庫の効率化と新事業領域の開発を今年度の基本方針に掲げ、全営業部門の黒字化の達成に取り組み、それを達成するために社内の業務改革、意識改革、風土改革を推進し、活力のある集団として働きがいのある会社となって企業価値の向上につなげてまいります。

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は8,539百万円(前年同期比3.7%減)、営業利益は14百万円(前年同期は営業利益161百万円)、経常利益は91百万円(前年同期は経常利益233百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は45百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益159百万円)となりました。

セグメントの状況は以下のとおりです。

[和装事業]

ツカモト市田株式会社における和装事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言の発令を受け、計画しておりました催事が中止もしくは延期となる事象が多数発生し、大幅な減収となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は737百万円(前年同期比48.3%減)、セグメント損失(営業損失)は215百万円(前年同期はセグメント損失49百万円)となりました。

[洋装事業]

メンズ事業、レディース・OEM事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言の発令を受け、商業施設等が営業を自粛したことによる店頭販売不振の影響があり、受注額が減少し、減収減益となりました。

ユニフォーム事業につきましては、ユニフォーム商品の受注は前年並みに推移しました。また、セールスプロモーション向け商品の受注獲得に注力し、増収増益となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は 4,062 百万円（前年同期比 19.6%増）、セグメント利益（営業利益）は 121 百万円（前年同期はセグメント利益 132 百万円）となりました。

〔ホームファニッシング事業〕

ホームファニッシング事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言の発令を受け、主力販売先である百貨店や直営店を展開する商業施設がおおよそ 2 か月間営業を自粛することとなり、販売機会ロスが発生したため大幅な減収となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は 1,504 百万円（前年同期比 18.9%減）、セグメント損失（営業損失）は 105 百万円（前年同期はセグメント利益 14 百万円）となりました。

〔健康・生活事業〕

健康・生活事業につきましては、GMS や家電量販店などの店頭販売は新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響を受けましたが、EC 販路や TV 通販は巣ごもり需要の増加等により堅調に推移し、売上・利益ともに前年並みに推移しました。

以上の結果、当事業分野の売上高は 1,774 百万円（前年同期比 0.1%減）、セグメント利益（営業利益）は 15 百万円（前年同期はセグメント利益 9 百万円）となりました。

〔建物の賃貸業〕

建物の賃貸業につきましては、テナント誘致が進んだことに加え、修繕費用が減少したこともあり増収増益となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は 527 百万円（前年同期比 11.1%増）、セグメント利益（営業利益）は 311 百万円（前年同期はセグメント利益 229 百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第 2 四半期連結会計期間における資産の部は、前連結会計年度末に比べ 213 百万円減少し、25,906 百万円となりました。これは流動資産における受取手形及び売掛金が 514 百万円、たな卸資産が 270 百万円それぞれ減少し、現金及び預金が 355 百万円、投資その他の資産における投資有価証券が時価評価等により 100 百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

また負債の部は、前連結会計年度末に比べ 176 百万円減少し、14,930 百万円となりました。これは流動負債における支払手形及び買掛金が 1,193 百万円、電子記録債務が 92 百万円それぞれ減少し、短期借入金が 1,092 百万円増加したことが主な要因であります。短期借入金の増加は主に輸入仕入における決済のための一時的なものであり、これは新型コロナウイルス感染症の影響により当第 1 四半期連結会計期間において大きく減少したものが、当第 2 四半期連結会計期間において増加に転じたことによるものであります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ 36 百万円減少し、10,976 百万円となりました。これは配当金の支払い等により利益剰余金が 114 百万円減少し、その他の包括利益累計額におけるその他有価証券評価差額金が 91 百万円増加したことが主な要因であります。

キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、1,762百万円となり前連結会計年度末から355百万円の増加となりました（前年同期は720百万円の減少）。この主な要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は479百万円（前年同期は145百万円の減少）となりました。売上債権及びたな卸資産はともに減少したものの、仕入債務の減少がこれを上回ったことが主な要因であります。これは新型コロナウイルス感染症による影響等により、例年に比べ当事業年度の仕入額が減少しましたが、仕入債務の支払額がそれを大きく上回ったことによります。この結果、前年同期と比べて333百万円の減少となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は88百万円（前年同期は151百万円の減少）となりました。これは、ホームファニシング事業におけるアウトレットなどの新規出店や百貨店の店舗の改装等による設備投資であり、有形及び無形固定資産の取得による支出が108百万円、また、投資有価証券の売却による収入が32百万円発生したことが主な要因であります。この結果、前年同期と比べて62百万円の支出の減少となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金は922百万円の増加（前年同四半期は423百万円の減少）となりました。これは短期借入金の返済による支出よりも短期借入れによる収入が大きく上回ったことが主な要因で、輸入仕入の決済における一時的な借入金の増加等によるものであります。この結果、前年同期と比べて1,345百万円の資金収入の増加となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期における通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期や政府による経済対策の効果などが不透明であり、合理的に算定することが困難であったことから未定としておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響はいまだ継続中であるものの、現時点において入手可能な情報や予測等に基づき業績への影響を合理的に見通すことが可能と判断いたしましたので、通期連結業績予想及び配当予想を公表することといたしました。

詳細につきましては、本日公表の「2021年3月期通期連結業績予想及び配当予想、特別利益の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,417	1,772
受取手形及び売掛金	3,221	2,707
電子記録債権	33	47
たな卸資産	2,794	2,523
その他	408	530
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	7,873	7,580
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,599	2,573
土地	10,581	10,581
その他(純額)	136	155
有形固定資産合計	13,317	13,310
無形固定資産		
その他	120	132
無形固定資産合計	120	132
投資その他の資産		
投資有価証券	2,723	2,824
出資金	1,500	1,500
退職給付に係る資産	303	315
その他	291	251
貸倒引当金	△11	△8
投資その他の資産合計	4,807	4,882
固定資産合計	18,245	18,325
資産合計	26,119	25,906
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,333	1,139
電子記録債務	986	894
短期借入金	5,087	6,179
未払法人税等	61	148
未払消費税等	17	17
返品調整引当金	35	13
その他	459	394
流動負債合計	8,980	8,787
固定負債		
長期借入金	3,331	3,331
繰延税金負債	1,760	1,794
再評価に係る繰延税金負債	12	12
退職給付に係る負債	203	210
資産除去債務	49	67
その他	767	725
固定負債合計	6,125	6,142
負債合計	15,106	14,930

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,829	2,829
資本剰余金	709	709
利益剰余金	7,328	7,214
自己株式	△104	△105
株主資本合計	10,762	10,648
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	316	407
繰延ヘッジ損益	7	0
土地再評価差額金	9	9
為替換算調整勘定	2	1
退職給付に係る調整累計額	△84	△91
その他の包括利益累計額合計	249	327
純資産合計	11,012	10,976
負債純資産合計	26,119	25,906

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	8,865	8,539
売上原価	6,109	6,182
売上総利益	2,755	2,356
返品調整引当金繰入額	23	13
返品調整引当金戻入額	71	35
差引売上総利益	2,803	2,379
販売費及び一般管理費	2,641	2,364
営業利益	161	14
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	102	98
投資有価証券売却益	2	5
保険配当金	7	6
為替差益	0	5
その他	12	15
営業外収益合計	128	131
営業外費用		
支払利息	51	50
手形売却損	2	1
その他	2	3
営業外費用合計	56	55
経常利益	233	91
特別利益		
雇用調整助成金	-	78
特別利益合計	-	78
特別損失		
組織再編関連費用	7	-
新型コロナウイルス感染症による損失	-	71
特別損失合計	7	71
税金等調整前四半期純利益	225	98
法人税、住民税及び事業税	65	53
法人税等調整額	-	-
法人税等合計	65	53
四半期純利益	159	45
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	159	45
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△121	91
繰延ヘッジ損益	0	△6
為替換算調整勘定	△0	△0
退職給付に係る調整額	△26	△6
その他の包括利益合計	△148	77
四半期包括利益	10	122
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10	122
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	225	98
減価償却費	103	104
有形及び無形固定資産除却損	0	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	△2
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△37	△12
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△47	△22
受取利息及び受取配当金	△104	△100
支払利息	51	50
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2	△5
雇用調整助成金	—	△78
新型コロナウイルス感染症による損失	—	71
為替差損益 (△は益)	0	△4
売上債権の増減額 (△は増加)	318	506
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△728	270
仕入債務の増減額 (△は減少)	83	△1,264
未払消費税等の増減額 (△は減少)	62	△3
その他	△68	△158
小計	△141	△549
利息及び配当金の受取額	102	103
利息の支払額	△50	△54
雇用調整助成金の受取額	—	76
新型コロナウイルス感染症による損失の支払額	—	△69
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△56	13
営業活動によるキャッシュ・フロー	△145	△479
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10	△10
定期預金の払戻による収入	10	10
有形及び無形固定資産の取得による支出	△152	△108
投資有価証券の取得による支出	△1	△0
投資有価証券の売却による収入	12	32
その他の支出	△23	△13
その他の収入	12	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△151	△88
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	650	2,442
短期借入金の返済による支出	△945	△1,350
長期借入れによる収入	1,502	—
長期借入金の返済による支出	△1,500	△0
リース債務の返済による支出	△10	△9
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△119	△159
財務活動によるキャッシュ・フロー	△423	922
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△720	355
現金及び現金同等物の期首残高	2,411	1,407
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,691	1,762

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)におきまして創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目につきましては、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額につきまして、改正前の税法の規定に基づいております。

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積り

新型コロナウイルス感染症の影響は現在においても継続しており、当社グループの事業活動にも大きな影響を及ぼしております。その影響は年末まで続くとの仮定のもと、その後の経済は緩やかに回復に向かうものと想定し、当第2四半期連結会計期間末において貸倒引当金、固定資産の減損等の会計上の見積りを行なっております。なお、上記における仮定は不確実性が高く、新型コロナウイルス感染症の拡大状況や経済の影響によっては、第3四半期連結会計期間以降の連結財務諸表に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	和装事業	洋装事業	ホームファインディング 事業	健康・生活 事業	建物の 賃貸業	
売上高						
外部顧客に対する 売上高	1,427	3,396	1,842	1,775	423	8,865
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	12	—	51	63
計	1,427	3,396	1,855	1,775	474	8,928
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△49	132	14	9	229	336

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	336
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	△176
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	161

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	和装事業	洋装事業	ホームファインシング [※] 事業	健康・生活 事業	建物の 賃貸業	
売上高						
外部顧客に対する 売上高	737	4,062	1,490	1,772	475	8,539
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	13	1	51	66
計	737	4,062	1,504	1,774	527	8,606
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△215	121	△105	15	311	127

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	127
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△112
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	14

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。